

秋田県内中小企業景況調査結果

(2020年7～9月期)

秋田県商工会議所連合会

〈内容〉

- I. 全産業の項目別DI値
- II. 産業別DI値
- III. 地域別DI値
- IV. 産業別設備投資
- V. 地域別設備投資
- VI. 経営上の問題点
- VII～IX. 付帯調査
- X. 総括表

※ 景気判断・DI値とは、「増加」・「好転」・「過剰」したとする企業割合から「減少」・「悪化」・「不足」したとする企業割合を差し引いた値である。
(▲: マイナス)

〈参考〉県内景況調査に対する各企業のコメント 一覧

〈回収状況〉

業種	対象企業数	有効回答企業数
建設業	40	34 (85.0%)
製造業	40	32 (80.0%)
卸売業	40	30 (75.0%)
小売業	40	36 (90.0%)
サービス業	40	36 (90.0%)
合計	200	168 (84.0%)

地域	対象企業数	有効回答企業数
県北	50	43 (86.0%)
県央	75	68 (90.7%)
県南	75	57 (76.0%)

I. 全産業の項目別DI値

1. 業況

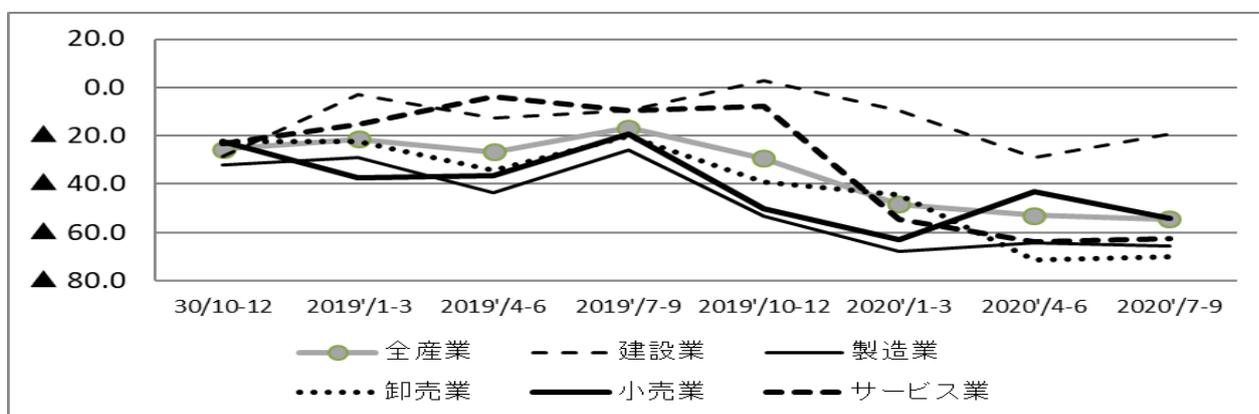
今期(7~9月)の業況DI値は、全産業で▲54.6と前期比でわずかながら悪化し、調査開始(平成26年7~9月)以降最低の数値を更新した。

産業別では、小売業、製造業で悪化した。一方、建設業、卸売業、サービス業は改善した。

来期の見通し(10~12月)は、全産業で▲46.6と今期比で改善を見通している。

産業別では、建設業を除く4業種で改善を見通している。

	前期(4~6月)		(C)	今期(7~9月)		
	(A)	来期見通(7~9月)(B)		前期比(C)-(A)	来期見通(10~12月)(D)	今期比(D)-(C)
全産業	▲ 52.9	▲ 46.5	▲ 54.6	-1.7	▲ 46.6	8.0
建設業	▲ 28.9	▲ 15.8	▲ 19.4	9.5	▲ 21.9	-2.5
製造業	▲ 64.5	▲ 51.6	▲ 65.7	-1.2	▲ 56.3	9.4
卸売業	▲ 71.4	▲ 67.9	▲ 70.0	1.4	▲ 60.0	10.0
小売業	▲ 43.3	▲ 46.0	▲ 54.3	-11.0	▲ 42.9	11.4
サービス業	▲ 63.9	▲ 58.3	▲ 62.8	1.1	▲ 52.8	10.0



2. 売上額・完成工事額

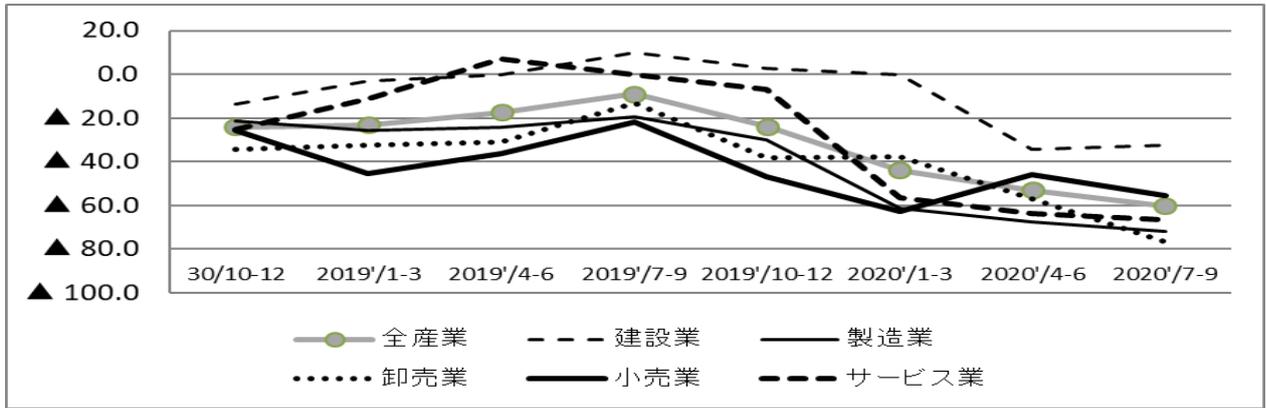
今期(7~9月)の売上額・完成工事額DI値は、全産業で▲60.1と前期比で悪化し、調査開始以降最低の数値を更新した。

産業別では、建設業以外の4業種で悪化し、厳しい状況が続いている。

来期の見通し(10~12月)は、全産業で▲56.0と今期比で改善を見通している。

産業別では、卸売業、製造業、サービス業で改善を見通す一方、小売業、建設業は悪化を見通している。

	前期(4~6月)		(C)	今期(7~9月)		
	(A)	来期見通(7~9月)(B)		前期比(C)-(A)	来期見通(10~12月)(D)	今期比(D)-(C)
全産業	▲ 53.0	▲ 55.8	▲ 60.1	-7.1	▲ 56.0	4.1
建設業	▲ 34.2	▲ 26.3	▲ 32.4	1.8	▲ 35.3	-2.9
製造業	▲ 67.7	▲ 61.2	▲ 71.8	-4.1	▲ 62.5	9.3
卸売業	▲ 57.2	▲ 75.0	▲ 76.6	-19.4	▲ 56.7	19.9
小売業	▲ 46.0	▲ 59.5	▲ 55.5	-9.5	▲ 61.1	-5.6
サービス業	▲ 63.9	▲ 63.9	▲ 66.6	-2.7	▲ 63.9	2.7



3. 資金繰り

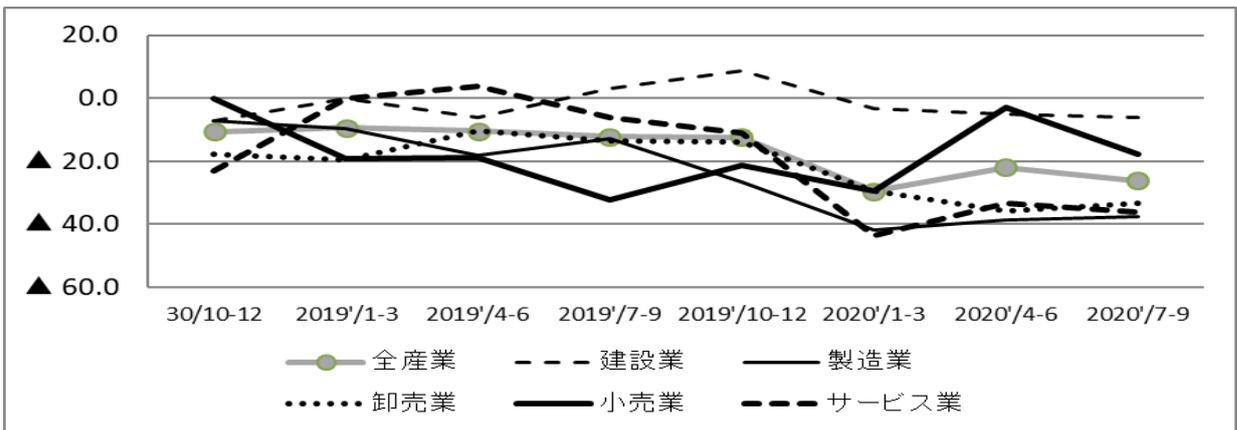
今期(7~9月)の資金繰りDI値は、全産業で▲26.2と前期比で悪化した。

産業別では、卸売業、製造業はわずかながら改善した。一方、小売業、サービス業、建設業は悪化した。

来期の見通し(10~12月)は、全産業で▲33.6と今期比で悪化を見通している。

産業別では、全業種で悪化を見通している。

	前期(4~6月)		今期(7~9月)			
	(A)	来期見通 (7~9月) (B)	(C)	前期比 (C)-(A)	来期見通(10~12月) (D)	今期比 (D)-(C)
全産業	▲ 21.9	▲ 30.8	▲ 26.2	-4.3	▲ 33.6	-7.4
建設業	▲ 5.2	▲ 7.9	▲ 6.2	-1.0	▲ 15.7	-9.5
製造業	▲ 38.7	▲ 29.1	▲ 37.5	1.2	▲ 43.8	-6.3
卸売業	▲ 35.7	▲ 50.0	▲ 33.3	2.4	▲ 36.7	-3.4
小売業	▲ 2.8	▲ 30.6	▲ 17.7	-14.9	▲ 32.4	-14.7
サービス業	▲ 33.4	▲ 41.6	▲ 36.1	-2.7	▲ 38.8	-2.7



4. 受注残(未消化工事高)

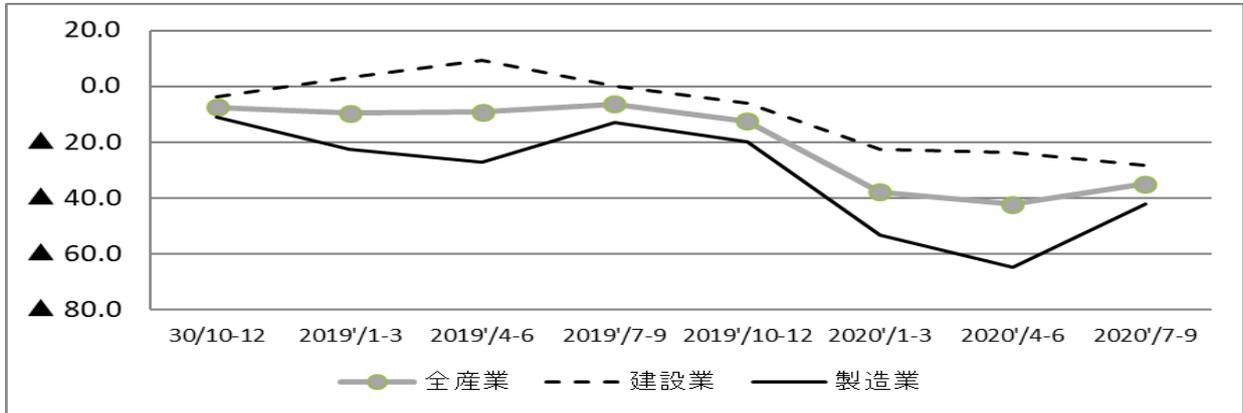
今期(7~9月)の受注残DI値は、全産業で▲34.9と前期比で改善した。

産業別では、製造業がプラス22.5ポイントと大幅に改善したが建設業は悪化した。

来期の見通し(10~12月)は、全産業で▲50.0と今期比で大幅な悪化を見通している。

産業別では、建設業、製造業とも悪化を見通している。特に建設業はマイナス28.1ポイントと大幅な悪化を見通している。

	前期(4~6月)		今期(7~9月)			
	(A)	来期見通 (7~9月)	(C)	前期比 (C)-(A)	来期見通(10~12月)	今期比 (D)-(C)
		(B)			(D)	
全産業	▲ 42.1	▲ 43.3	▲ 34.9	7.2	▲ 50.0	-15.1
建設業	▲ 23.7	▲ 34.2	▲ 28.2	-4.5	▲ 56.3	-28.1
製造業	▲ 64.5	▲ 55.2	▲ 42.0	22.5	▲ 43.7	-1.7



5. 採算(経常利益)

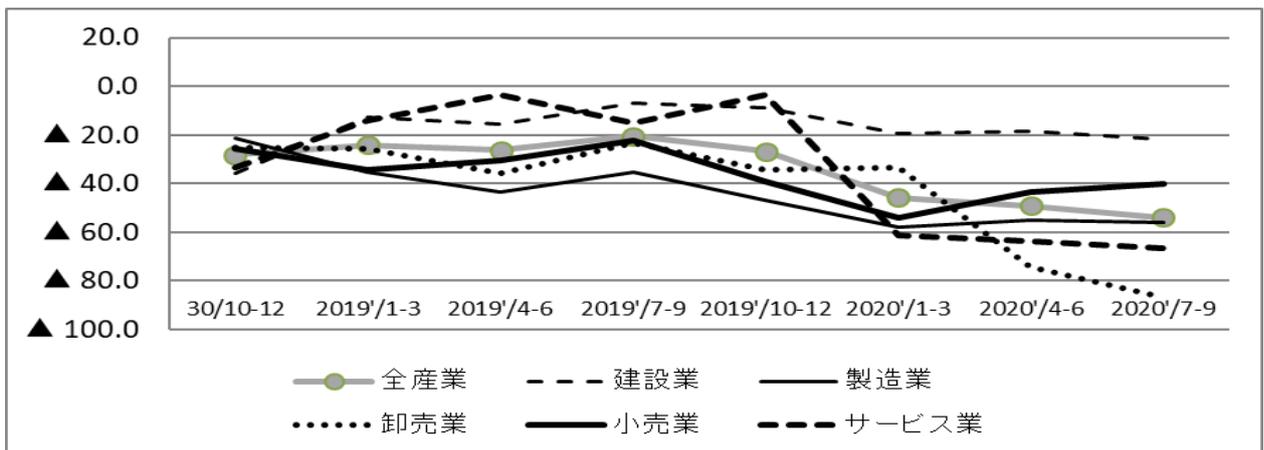
今期(7~9月)の採算DI値は、全産業で▲53.9と前期比で悪化し、調査開始以降最低の数値を更新した。

産業別では、小売業以外の4業種で悪化した。

来期の見通し(10~12月)は、全産業で▲50.3と今期比で改善を見通している。

産業別では、卸売業、サービス業、製造業で改善を見通す一方、建設業、小売業は悪化を見通している。

	前期(4~6月)		今期(7~9月)			
	(A)	来期見通 (7~9月)	(C)	前期比 (C)-(A)	来期見通(10~12月)	今期比 (D)-(C)
		(B)			(D)	
全産業	▲ 49.2	▲ 50.6	▲ 53.9	-4.7	▲ 50.3	3.6
建設業	▲ 18.4	▲ 21.0	▲ 21.9	-3.5	▲ 31.3	-9.4
製造業	▲ 54.8	▲ 58.1	▲ 56.2	-1.4	▲ 53.1	3.1
卸売業	▲ 74.1	▲ 75.0	▲ 86.7	-12.6	▲ 66.6	20.1
小売業	▲ 43.3	▲ 51.4	▲ 40.0	3.3	▲ 48.5	-8.5
サービス業	▲ 63.8	▲ 55.5	▲ 66.6	-2.8	▲ 52.8	13.8



6. 従業員(含む臨時)

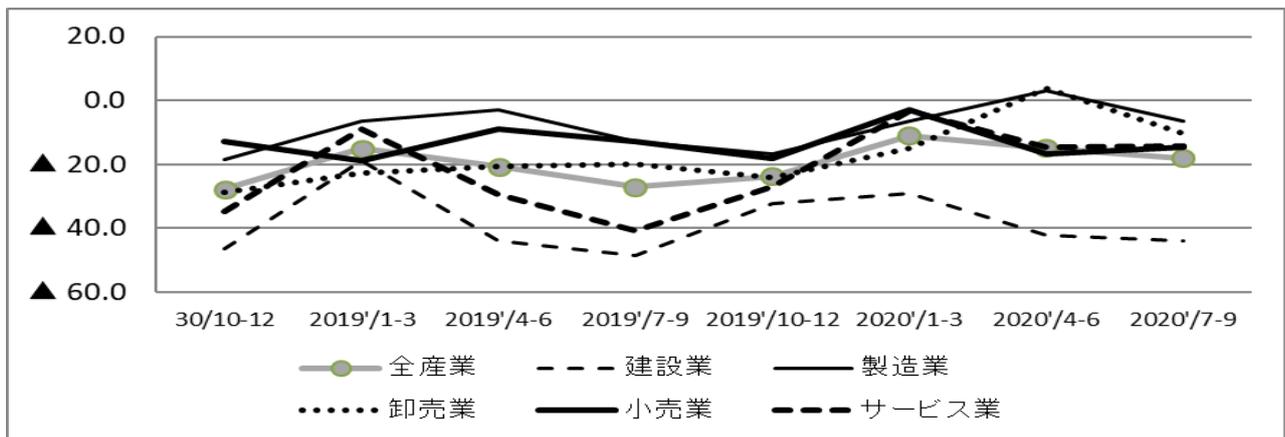
今期(7~9月)の従業員DI値は、全産業で▲18.0と前期比で不足感を拡大した。

産業別では、卸売業、製造業が前期の過剰から不足に転じた。建設業は不足感を拡大する一方、小売業、サービス業は不足感を縮小した。

来期の見通し(10~12月)は、全産業で▲18.6と今期比でわずかながら不足感の拡大を見通している。

産業別では、建設業、卸売業が横ばい、製造業、小売業がわずかながら不足感の拡大を見通す一方、サービス業はわずかながら不足感の縮小を見通している。

	前期(4~6月)		今期(7~9月)			
	(A)	来期見通 (7~9月)	(C)	前期比	来期見通(10~12月)	今期比
		(B)		(C)-(A)		(D)
全産業	▲14.9	▲15.7	▲18.0	-3.1	▲18.6	-0.6
建設業	▲42.1	▲40.5	▲43.8	-1.7	▲43.8	0.0
製造業	3.2	▲3.2	▲6.5	-9.7	▲9.4	-2.9
卸売業	3.6	▲3.6	▲10.4	-14.0	▲10.7	-0.3
小売業	▲16.6	▲13.9	▲14.7	1.9	▲17.6	-2.9
サービス業	▲14.7	▲11.7	▲14.3	0.4	▲11.4	2.9



II. 産業別DI値

1. 建設業

今期(7~9月)のDI値は、業況が▲19.4と前期比で改善した。

項目別では、完成工事額が改善した。一方、受注残、採算、資金繰りは悪化した。従業員はわずかながら不足感を拡大した。

企業からは、「大型物件がないため、完成工事額は減少しているが、採算は好転気味である」【**鉄金工事業**】とのコメントがある一方、「受注現場が新型コロナウイルスの影響による原材料入手の遅れや集中豪雨による水害のため、現場作業が停止し、工期延期や工事額減額の要素が出ている」【**一般土木建築工事業**】とのコメントがあった。

来期の見通し(10~12月)は、業況が▲21.9と今期比でわずかながら悪化を見通している。

項目別では受注残、資金繰り、採算、完成工事額で悪化を見通している。特に受注残はマイナス28.1ポイントと大幅な悪化を見通している。従業員は横ばいを見通している。

企業からは、「電線張替工事が増えるため、完成工事額も増加の見込」【**一般電気工事業**】とのコメントがある一方、「8月に完成工事が多かったため、工事額減少を見込む」【**塗装工事業**】とのコメントがあった。

	前期(4~6月)		今期(7~9月)			
	(A)	来期見通 (7~9月)	(C)	前期比	来期見通(10~12月)	
		(B)		(C)-(A)	(D)	今期比 (D)-(C)
業況	▲ 28.9	▲ 15.8	▲ 19.4	9.5	▲ 21.9	-2.5
完成工事額	▲ 34.2	▲ 26.3	▲ 32.4	1.8	▲ 35.3	-2.9
資金繰り	▲ 5.2	▲ 7.9	▲ 6.2	-1.0	▲ 15.7	-9.5
受注残	▲ 23.7	▲ 34.2	▲ 28.2	-4.5	▲ 56.3	-28.1
採算(経常利益)	▲ 18.4	▲ 21.0	▲ 21.9	-3.5	▲ 31.3	-9.4
従業員(含む臨時)	▲ 42.1	▲ 40.5	▲ 43.8	-1.7	▲ 43.8	0.0

2. 製造業

今期(7~9月)のDI値は、業況が▲65.7と前期比でわずかながら悪化し、厳しい状況が続いている。

項目別では、売上額、採算が悪化した。一方、受注残、資金繰りは改善した。特に受注残はプラス22.5ポイントと大幅に改善した。従業員は前期の過剰から不足に転じた。

企業からは、「7月は回復傾向が見られたものの、新型コロナウイルス感染再拡大で業務用市場は再び失速。8月は夏祭り中止やお盆帰省自粛による需要の減少、観測史上最多となる猛暑日、9月末は酒税減税前の仕入控えも影響した」【清酒製造業】、「イベントの中止、学校給食の中止等で売上減少」【製麺業】とのコメントがあった。

来期の見通し(10~12月)は、業況が▲56.3と今期比で改善を見通している。

項目別では、売上額、採算で改善を見通す一方、資金繰り、受注残で悪化を見通している。従業員は不足感の拡大を見通している。

企業からは「10月以降の受注については順調に伸びている【金属製品製造業】とのコメントがある一方、「飲み会や多人数の会合が全くない中、在宅勤務や時差出勤の普及で「仕事帰りに一杯」という需要は冷え込んでくる。この状況が続くと「飲食店の廃業増加」と「酒飯店の経営逼迫」が並行して進む」【清酒製造業】とのコメントがあった。

	前期(4~6月)		今期(7~9月)			
	(A)	来期見通 (7~9月)	(C)	前期比	来期見通(10~12月)	
		(B)		(C)-(A)	(D)	今期比 (D)-(C)
業況	▲ 64.5	▲ 51.6	▲ 65.7	-1.2	▲ 56.3	9.4
売上額	▲ 67.7	▲ 61.2	▲ 71.8	-4.1	▲ 62.5	9.3
資金繰り	▲ 38.7	▲ 29.1	▲ 37.5	1.2	▲ 43.8	-6.3
受注残	▲ 64.5	▲ 55.2	▲ 42.0	22.5	▲ 43.7	-1.7
採算(経常利益)	▲ 54.8	▲ 58.1	▲ 56.2	-1.4	▲ 53.1	3.1
従業員(含む臨時)	3.2	▲ 3.2	▲ 6.5	-9.7	▲ 9.4	-2.9

3. 卸売業

今期(7~9月)のDI値は、業況が▲70.0と前期比でわずかながら改善したが、厳しい状況が続いている。

項目別では、資金繰りがわずかながら改善した。一方、売上額、採算は悪化した。特に売上額はマイナス19.4ポイントと大幅に悪化した。従業員は前期の過剰から不足に転じた。

企業からは、「夏休み期間中のイベント(夏祭りや盆踊り等)の中止により、売上激減。持続化給付金の対象にも届かず、非常に苦しい」【その他の卸売業】とのコメントがある一方、「コロナの影響で一部売上が減少しているが、他の部門の売上増加のため、トータルでは増加している。しかし、採算は取れていない」【青果卸売業】とのコメントがあった。

来期の見通し(10~12月)は、業況が▲60.0と今期比で改善を見通している。

項目別では、採算、売上額で大幅な改善を見通している。一方、資金繰りは悪化の見通しをして

いる。従業員はほぼ横ばいの見通しをしている。

企業からは、「去年は暖冬で売上が悪かったので、コロナの影響で悪化しても同じくらいと見込んでいる【織物卸売業】、「まだまだ新型コロナウイルスの影響が大きい」【清涼飲料卸売業】とのコメントがあった。

	前期(4~6月)		(C)	今期(7~9月)		
	(A)	来期見通 (7~9月) (B)		前期比 (C)-(A)	来期見通(10~12月) (D)	今期比 (D)-(C)
業況	▲ 71.4	▲ 67.9	▲ 70.0	1.4	▲ 60.0	10.0
売上額	▲ 57.2	▲ 75.0	▲ 76.6	-19.4	▲ 56.7	19.9
資金繰り	▲ 35.7	▲ 50.0	▲ 33.3	2.4	▲ 36.7	-3.4
採算(経常利益)	▲ 74.1	▲ 75.0	▲ 86.7	-12.6	▲ 66.6	20.1
従業員(含む臨時)	3.6	▲ 3.6	▲ 10.4	-14.0	▲ 10.7	-0.3

4. 小売業

今期(7~9月)のDI値は、業況が▲54.3と前期比で大幅に悪化した。

項目別では、資金繰り、売上額が悪化した。一方、採算は改善した。従業員はわずかながら不足感を縮小した。

企業からは、「消費者の購買意欲が上がって来ない。テナントの百貨店の売上の減少率は大きい」【茶類小売業】とのコメントがある一方、「コロナの影響で酒類の飲食店向けの売上は低迷しているが、食品関係の通販の売上は増加傾向にある」【酒類・食料品小売】とのコメントがあった。

来期の見通し(10~12月)は、業況は▲42.9と今期比で大幅な改善を見通している。

項目別では、資金繰り、採算、売上額で悪化を見通している。従業員はわずかながら不足感の拡大を見通している。

企業からは、「新型コロナウイルス感染症の終息が見えない中、メーカーの商品改良等でコンパクトカー中心に市場が活発化し、一部商品でメーカーの生産が逼迫し、出荷遅れが発生しているものの、去年の消費税増税ほどの影響はないと判断し、前年同期と比較し増収・増益を見込む」【自動車小売業】とのコメントがある一方、「当面は飲食店の売上減が予想され、全体で10%くらい減少の見込」【酒類・食料品小売】とのコメントがあった。

	前期(4~6月)		(C)	今期(7~9月)		
	(A)	来期見通 (7~9月) (B)		前期比 (C)-(A)	来期見通(10~12月) (D)	今期比 (D)-(C)
業況	▲ 43.3	▲ 46.0	▲ 54.3	-11.0	▲ 42.9	11.4
売上額	▲ 46.0	▲ 59.5	▲ 55.5	-9.5	▲ 61.1	-5.6
資金繰り	▲ 2.8	▲ 30.6	▲ 17.7	-14.9	▲ 32.4	-14.7
採算(経常利益)	▲ 43.3	▲ 51.4	▲ 40.0	3.3	▲ 48.5	-8.5
従業員(含む臨時)	▲ 16.6	▲ 13.9	▲ 14.7	1.9	▲ 17.6	-2.9

5. サービス業

今期(7~9月)のDI値は、業況が▲62.8と前期比でわずかながら改善した。

項目別では、採算、売上額、資金繰りがわずかながら悪化した。従業員はほぼ横ばいとなった。

企業からは、「売上の的には新型コロナウイルスの影響がなかった」【司法書士】とのコメントがある一方、「新型コロナウイルスの影響は大きく、売上は前年比6割程度の状況【運輸業】とのコメントがあった。

来期の見通し(10~12月)は、業況は▲52.8と今期比で改善を見通している。

項目別では採算、売上額が改善する一方、資金繰りはわずかながら悪化の見通しをしている。従

業員はわずかながら不足感の縮小を見通している。

企業からは、「補助金を活用したデザイン制作などの依頼があり、年末に売上が集中する見込」【建築設計】とのコメントがある一方、「若干、売上減少幅は上向きであるが、人数の多い宴会等はまだまだ自粛しているため、売上は好転しない」【食堂】とのコメントがあった。

	前期(4~6月)		今期(7~9月)			
	(A)	来期見通 (7~9月)	(C)	前期比	来期見通(10~12月)	今期比 (D)-(C)
		(B)		(C)-(A)	(D)	
業況	▲ 63.9	▲ 58.3	▲ 62.8	1.1	▲ 52.8	10.0
売上額	▲ 63.9	▲ 63.9	▲ 66.6	-2.7	▲ 63.9	2.7
資金繰り	▲ 33.4	▲ 41.6	▲ 36.1	-2.7	▲ 38.8	-2.7
採算(経常利益)	▲ 63.8	▲ 55.5	▲ 66.6	-2.8	▲ 52.8	13.8
従業員(含む臨時)	▲ 14.7	▲ 11.7	▲ 14.3	0.4	▲ 11.4	2.9

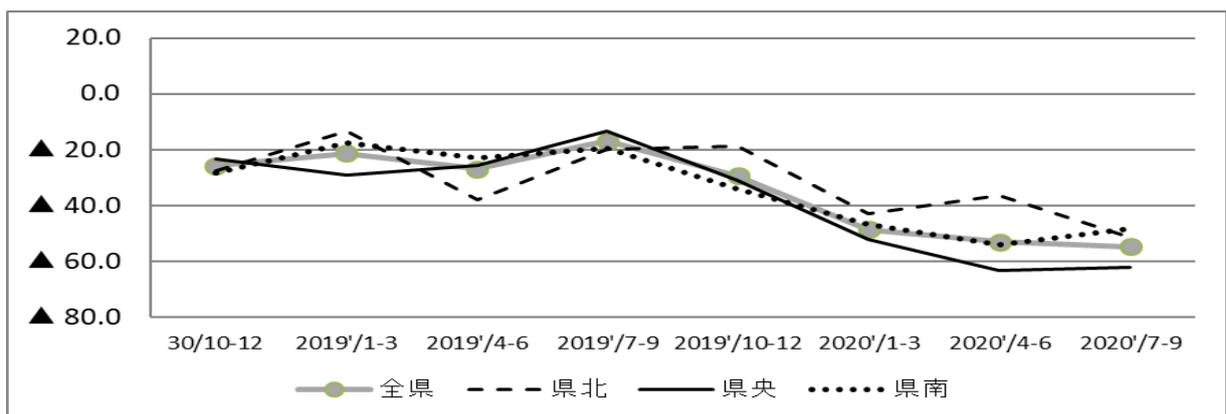
Ⅲ. 地域別DI値

1. 業況

今期(7~9月)のDI値は、前期比で県北が大幅に悪化し、調査開始以降最低の数値を更新した。一方、県南、県央は改善した。

来期の見通し(10~12月)は、今期比で県北、県央が改善、県南がわずかながら悪化の見通しをしている。

	前期(4~6月)		今期(7~9月)			
	(A)	来期見通 (7~9月)	(C)	前期比	来期見通(10~12月)	今期比 (D)-(C)
		(B)		(C)-(A)	(D)	
全 県	▲ 52.9	▲ 46.5	▲ 54.6	-1.7	▲ 46.6	8.0
県 北	▲ 36.4	▲ 34.1	▲ 51.2	-14.8	▲ 32.6	18.6
県 央	▲ 63.0	▲ 52.3	▲ 62.1	0.9	▲ 52.2	9.9
県 南	▲ 54.1	▲ 49.2	▲ 48.1	6.0	▲ 50.9	-2.8

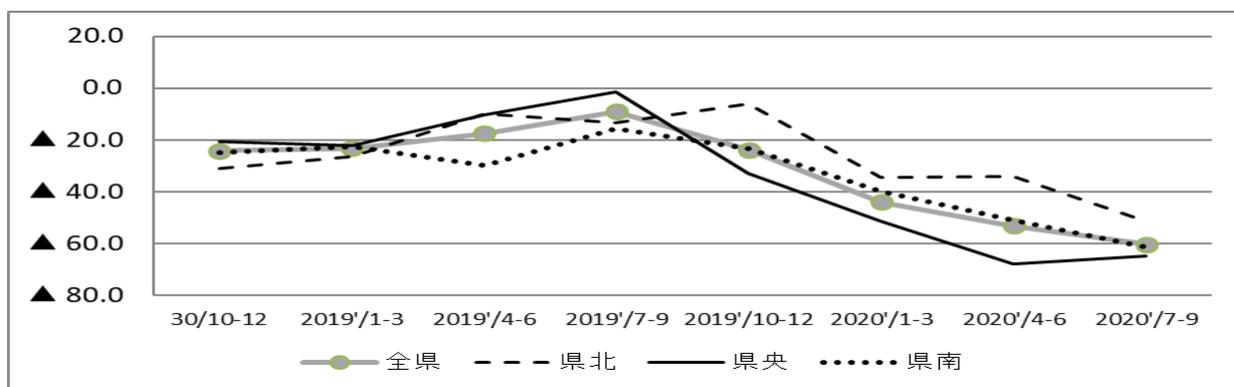


2. 売上額・完成工事額

今期(7~9月)のDI値は、前期比で県北、県南は大幅に悪化し、ともに調査開始以降最低の数値を更新した。一方、県央はわずかながら改善した。

来期見通し(10~12月)は、今期比で県南が横ばい、県北、県央は改善を見通している。

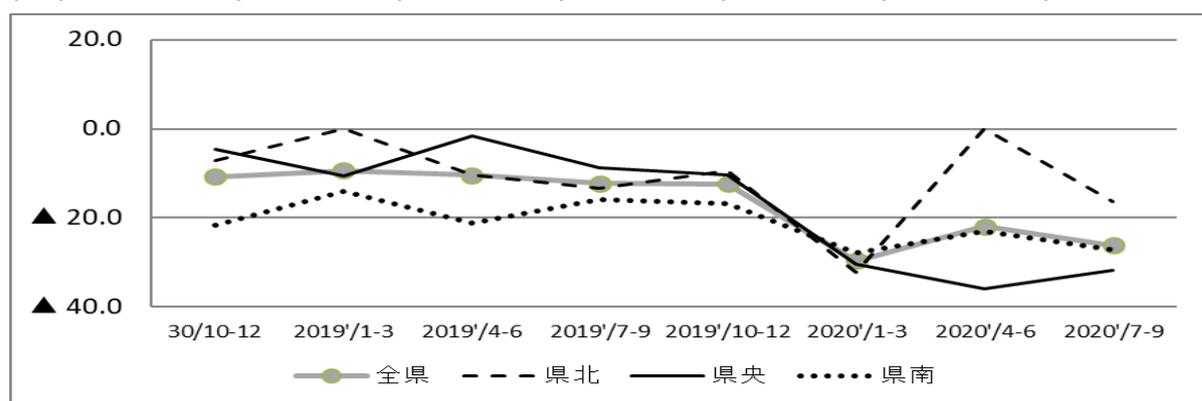
	前期(4~6月)			今期(7~9月)		
	(A)	来期見通 (7~9月)	(C)	前期比 (C)-(A)	来期見通(10~12月) (D)	今期比 (D)-(C)
		(B)				
全 県	▲ 53.0	▲ 55.8	▲ 60.1	-7.1	▲ 56.0	4.1
県 北	▲ 34.1	▲ 43.1	▲ 51.1	-17.0	▲ 44.2	6.9
県 央	▲ 67.6	▲ 60.0	▲ 64.7	2.9	▲ 58.8	5.9
県 南	▲ 50.8	▲ 60.7	▲ 61.4	-10.6	▲ 61.4	0.0



3. 資金繰り

今期(7~9月)のDI値は、前期比で県北、県南が悪化する一方、県央は改善した。来期見通し(10~12月)は、今期比で全域の悪化を見通している。

	前期(4~6月)			今期(7~9月)		
	(A)	来期見通 (7~9月)	(C)	前期比 (C)-(A)	来期見通(10~12月) (D)	今期比 (D)-(C)
		(B)				
全 県	▲ 21.9	▲ 30.8	▲ 26.2	-4.3	▲ 33.6	-7.4
県 北	0.0	▲ 20.5	▲ 16.3	-16.3	▲ 25.6	-9.3
県 央	▲ 35.9	▲ 40.6	▲ 31.8	4.1	▲ 40.9	-9.1
県 南	▲ 22.9	▲ 27.8	▲ 27.2	-4.3	▲ 30.9	-3.7

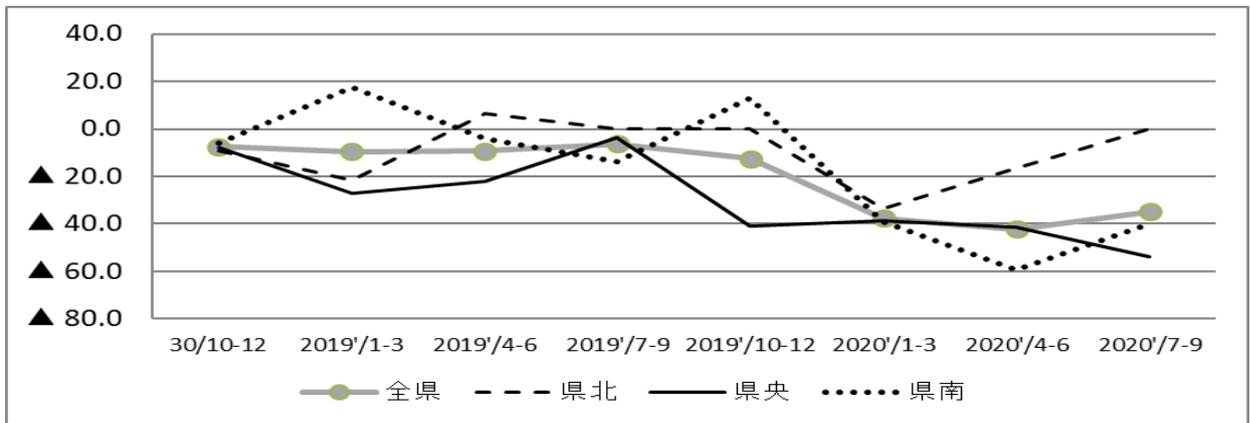


4. 受注残(未消化工事高)

今期(7~9月)のDI値は、前期比で、県南、県北が大幅に改善する一方、県央が大幅に悪化した。

来期見通し(10~12月)は、今期比で全域の悪化を見通している。

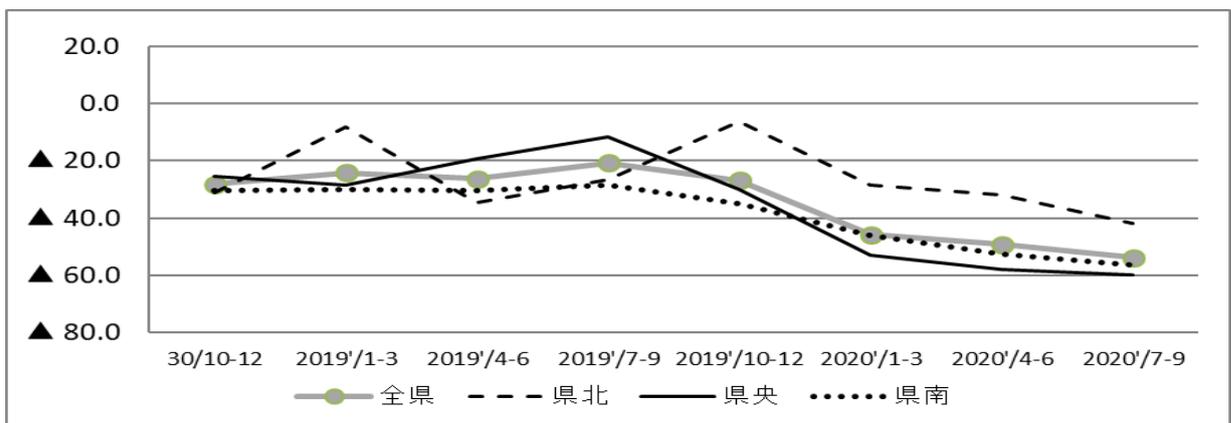
	前期(4~6月)		今期(7~9月)			
	(A)	来期見通 (7~9月)	(C)	前期比 (C)-(A)	来期見通(10~12月)	今期比 (D)-(C)
		(B)			(D)	
全 県	▲ 42.1	▲ 43.3	▲ 34.9	7.2	▲ 50.0	-15.1
県 北	▲ 16.7	▲ 33.3	0.0	16.7	▲ 29.4	-29.4
県 央	▲ 41.6	▲ 39.1	▲ 53.8	-12.2	▲ 61.6	-7.8
県 南	▲ 59.3	▲ 53.9	▲ 40.0	19.3	▲ 52.3	-12.3



5. 採算(経常利益)

今期(7~9月)のDI値は、前期比で全域が悪化し、調査開始以降最低の数値を更新した。
来期見通し(10~12月)は、今期比で全域が改善を見通している。

	前期(4~6月)		今期(7~9月)			
	(A)	来期見通 (7~9月)	(C)	前期比 (C)-(A)	来期見通(10~12月)	今期比 (D)-(C)
		(B)			(D)	
全 県	▲ 49.2	▲ 50.6	▲ 53.9	-4.7	▲ 50.3	3.6
県 北	▲ 31.8	▲ 38.6	▲ 41.9	-10.1	▲ 32.6	9.3
県 央	▲ 57.9	▲ 56.9	▲ 59.7	-1.8	▲ 58.2	1.5
県 南	▲ 52.4	▲ 52.4	▲ 56.3	-3.9	▲ 54.6	1.7

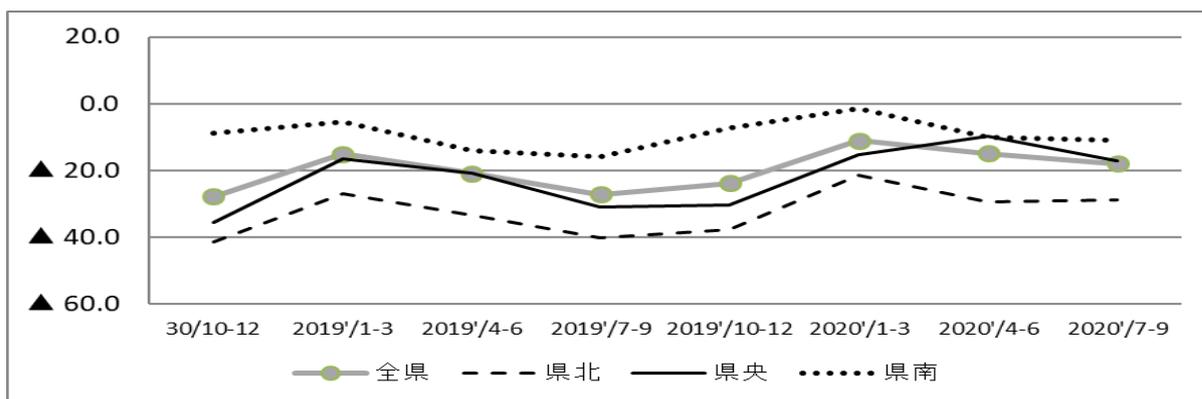


6. 従業員(含む臨時)

今期(7~9月)のDI値は、前期比で県央、県南が不足感を拡大する一方、県北がわずかながら不足感を縮小した。

来期見通し(10~12月)は、今期比で県央、県南が横ばい、県北がわずかながら不足感の拡大を見通している。

	前期(4~6月)		今期(7~9月)			
	(A)	来期見通 (7~9月)	(C)	前期比 (C)-(A)	来期見通(10~12月) (D)	今期比 (D)-(C)
		(B)				
全 県	▲ 14.9	▲ 15.7	▲ 18.0	-3.1	▲ 18.6	-0.6
県 北	▲ 29.5	▲ 27.3	▲ 28.6	0.9	▲ 31.0	-2.4
県 央	▲ 9.7	▲ 13.1	▲ 17.2	-7.5	▲ 17.2	0.0
県 南	▲ 9.9	▲ 9.8	▲ 10.9	-1.0	▲ 10.9	0.0



IV. 産業別設備投資

全産業における今期(7~9月)の設備投資については、「実施した」とする企業は60件で、前期比で3件増加した。

産業別では、「実施した」とする中で最も多かったのは建設業(15件)、次いで製造業(14件)、小売業(13件)の順となっている。

全産業で、設備投資内容で最も多かったのは、「車両・運搬具」(22件)、次いで「OA機器」(15件)、「建物・工場・店舗」(13件)の順となっている。

来期(10~12月)の計画では、全産業で「計画している」としたのは45件で、今期比で15件減少している。

産業別では、「計画している」とした中で最も多かったのは、製造業(11件)、次いで建設業、サービス業(ともに10件)の順となっている。

全産業で、設備投資内容で最も多かったのは、「車両・運搬具」(18件)、「OA機器」(10件)、「建物・工場・店舗」(8件)の順となっている。

設備投資状況

(件数)

	前期(4~6月)				今期(7~9月)						
	実施した (A)	実施しない	来期の計画(7-9月)		実施した (C)	実施しない	前期比 (C-A)	来期の計画(10-12月)			
			計画している (B)	計画していない				計画している (D)	計画していない	今期比 (D-C)	
全 産 業	57	113	40	129	60	108	3	45	122	▲ 15	
建 設 業	13	25	10	28	15	19	2	10	24	▲ 5	
製 造 業	11	20	11	19	14	18	3	11	20	▲ 3	
卸 売 業	6	22	6	22	8	22	2	7	23	▲ 1	
小 売 業	14	23	4	33	13	23	▲ 1	7	29	▲ 6	
サ ー ビ ス 業	13	23	9	27	10	26	▲ 3	10	26	0	

設備内容(複数回答)

(件数)

	全産業		建設業		製造業		卸売業		小売業		サービス業	
	今期	来期	今期	来期								
①土地	5	1	1	0	1	0	2	0	0	0	1	1
②建物・工場・店舗	13	8	1	1	1	2	2	1	5	1	4	3
③機械・設備・倉庫	10	6	3	0	6	3	0	0	0	0	1	3
④車両・運搬具	22	18	7	6	3	4	3	4	7	4	2	0
⑤付帯施設	4	7	0	2	3	2	0	1	0	0	1	2
⑥OA機器	15	10	6	3	1	2	3	3	3	2	2	0
⑦福利厚生施設	2	1	0	0	1	0	0	0	0	0	1	1
⑧その他	2	2	0	0	1	1	1	0	0	0	0	1
合計	73	53	18	12	17	14	11	9	15	7	12	11

V. 地域別設備投資

今期(7~9月)の設備投資について、「実施した」企業は、前期比で県北、県央が増加、県南が減少した。

設備投資で最も多いのは、県北で「車両・運搬具」(7件)、県央で「車両・運搬具」(10件)、県南で「建物・工場・店舗」(6件)となった。

来期(10~12月)の設備投資について、「計画している」企業は、今期比で全域が減少を見通している。

「計画している」企業の設備内容で最も多かったのは、県北で「車両・運搬具」(5件)、県央で「車両・運搬具」(8件)、県南で「建物・工場・店舗」「車両・運搬具」(ともに5件)となっている。

設備投資状況

(件数)

	前期(4~6月)				今期(7~9月)					
	実施した (A)	実施しない	来期の計画(7-9月)		実施した (C)	実施しない	前期比 (C-A)	来期の計画(10-12月)		
			計画している (B)	計画していない				計画している (D)	計画していない	今期比 (D-C)
全体	57	113	40	129	60	108	3	45	122	▲15
県北	14	30	11	32	16	27	2	9	34	▲7
県央	21	44	15	50	23	45	2	18	50	▲5
県南	22	39	14	47	21	36	▲1	18	38	▲3

設備内容(複数回答)

(件数)

	全県		県北		県央		県南	
	今期	来期	今期	来期	今期	来期	今期	来期
①土地	5	1	1	0	2	0	3	1
②建物・工場・店舗	13	8	3	2	5	2	6	5
③機械・設備・倉庫	10	6	5	3	3	2	3	1
④車両・運搬具	22	18	7	5	10	8	5	5
⑤付帯施設	4	7	0	0	1	4	3	3
⑥OA機器	15	10	3	1	9	6	3	3
⑦福利厚生施設	2	1	0	0	2	0	0	1
⑧その他	2	2	1	0	0	0	1	2
合計	73	53	20	11	32	22	24	21

VI. 経営上の問題点

産業別における「経営上の問題点」は、製造業、卸売業、小売業、サービス業が「需要の停滞」を第1位に挙げている。建設業は「熟練技術者の確保難」を第1位に挙げている。

2位以下の項目では、建設業が「民間需要の停滞」「下請業者の確保難」「官公需要の停滞」、製造業が「熟練技術者の確保難」「製品ニーズの変化への対応」「従業員の確保難」、卸売業が「販売単価の低下・上昇難」「店舗・倉庫の狭隘・老朽化」、小売業が「仕入単価の上昇」「消費者ニーズの変化への対応」、サービス業が「人件費以外の経費の増加」「熟練従業員の確保難」を問題点として挙げており、需要の停滞による売上の伸び悩みや人材不足、販売単価の低下・上昇難、人件費以外の経費の増加、製品・消費者ニーズの変化への対応等が経営課題となっていることがうかがえる。

	1位		2位		3位	
建設業	熟練技術者の確保難		民間需要の停滞 熟練技術者の確保難 下請業者の確保難		官公需要の停滞	
	21.4%	6件	14.3%	4件	23.1%	6件
製造業	需要の停滞		熟練技術者の確保難		需要の停滞 製品ニーズの変化への対応 従業員の確保難 熟練技術者の確保難	
	37.9%	11件	22.2%	6件	14.3%	3件
卸売業	需要の停滞		販売単価の低下・上昇難		店舗・倉庫の狭隘・老朽化	
	50.0%	14件	26.9%	7件	19.0%	4件
小売業	需要の停滞		需要の停滞 仕入単価の上昇		消費者ニーズの変化への対応	
	33.3%	11件	16.7%	5件	20.8%	5件
サービス業	需要の停滞		需要の停滞 人件費以外の経費の増加 熟練従業員の確保難		需要の停滞	
	31.3%	10件	14.8%	4件	19.0%	4件

※ %は1位、2位、3位それぞれの回答数(=100%)の割合を示したものの。

参考:1~3位を累計した場合

	1位		2位		3位	
建設業	熟練技術者の確保難		官公需要の停滞 民間需要の停滞		従業員の確保難	
	16.3%	14件	15.1%	13件	14.0%	12件
製造業	需要の停滞		製品ニーズの変化への対応		熟練技術者の確保難	
	20.8%	16件	15.6%	12件	11.7%	9件
卸売業	需要の停滞		販売単価の低下・上昇難		店舗・倉庫の狭隘・老朽化	
	26.7%	20件	14.7%	11件	10.7%	8件
小売業	需要の停滞		消費者ニーズの変化への対応		販売単価の低下・上昇難	
	19.5%	17件	16.1%	14件	11.5%	10件
サービス業	需要の停滞		利用者ニーズの変化への対応		従業員の確保難	
	22.0%	18件	17.1%	14件	11.0%	9件

※ %は1~3位までの総回答数(=100%)の割合を示したものの。

【付帯調査】

◎新型コロナウイルス感染拡大による影響に関する調査

VII. 業務への影響

- ・業務への影響について聞いたところ、回答のあった166件中、①「影響が続いている」が82件49.4%、次いで②「経済活動の停滞が長期化すると影響が出る懸念がある」の69件41.6%、③「影響はない」の15件9.0%の順となった。

選 択 肢	件数	構成比 (%)
①影響が続いている	82 (81)	49.4 (48.2)
②経済活動の停滞が長期化すると影響が出る懸念がある	69 (69)	41.6 (41.1)
③影響はない	15 (18)	9.0 (10.7)
合 計	166 (168)	100.0 (100.0)

※ () は前回調査の数字

VIII. 事業継続と感染拡大防止の両立にあたり実施している対応について（複数回答可）

- ・実施している対応について聞いたところ、回答のあった166社中、⑪「店舗・オフィス等の定期的な消毒・換気、従業員・顧客の検温、手洗い、手指等の消毒徹底」が90件54.2%、次いで⑤「出張の原則禁止・制限」の55件33.1%、⑩「店舗・オフィス等のレイアウトの見直し（席配置、飛沫感染予防シート設置など）」の42件25.3%の順となった。

選 択 肢	件数	構成比 (%)
①時差出勤の実施	6 (3)	3.6 (1.8)
②テレワークの実施	13 (11)	7.8 (6.5)
③ローテーション勤務の導入	8 (5)	4.8 (3.0)
④フレックスタイム制の導入による柔軟な勤務体制整備	5 (10)	3.0 (6.0)
⑤出張の原則禁止・制限	55 (62)	33.1 (36.9)
⑥営業時間の短縮・営業日数の削減	20 (18)	12.0 (10.7)
⑦会議の開催頻度・時間・人数の削減・制限	35 (31)	21.1 (18.5)
⑧会議・稟議等のオンライン化	31 (29)	18.7 (17.3)
⑨キャッシュレス等の電子決済の導入	25 (16)	15.1 (9.5)

⑩店舗・オフィス等のレイアウトの見直し（席配置、飛沫感染予防シート設置など）	42 (36)	25.3 (21.4)
⑪店舗・オフィス等の定期的な消毒・換気、従業員・顧客の検温、手洗い、手指等の消毒徹底	90 (87)	54.2 (51.8)
⑫「新しい生活様式」に対応した商品・サービスの提供	21 (21)	12.7 (12.5)
⑬その他	5 (9)	3.0 (5.4)
⑭特別な対応は取っていない	36 (28)	21.7 (16.7)

※（ ）は前回調査の数字。なお、構成比は質問Ⅶの合計件数に対する割合を示す。

○その他のコメント

- ・ 建設業
 - ・ 県外へ移動しない(塗装工事)
- ・ 製造業
 - ・ 全社員へマスク提供（印刷業）
- ・ 卸売業
 - ・ 展示会など人が多く集まるイベントの中止（織物）
- ・ 小売業
 - ・ 従業員を暇な日には休ませたり、早上がりを見せているが、今のところは有給扱い（花・植木）
 - ・ 従業員の安定化のため、報酬は同じく（飲料品）

Ⅷ. 今年度の雇用や採用関連の動きについて（複数回答可）

- ・ 雇用や採用関連の動きについて聞いたところ、回答のあった82社中、⑪「雇用調整助成金を申請し、既に支給された」の19件23.2%、次いで前回1位だった⑤「正社員の休業を実施」が18件22.0%、①「新卒採用（正社員）を縮小・見送る」の14件17.1%の順となった。なお、⑬「該当なし」も45件54.9%あった。

選 択 肢	件数	構成比(%)
①新卒採用（正社員）を縮小・見送る	14 (11)	17.1 (13.6)
②中途採用（正社員）を縮小・見送る	11 (9)	13.4 (11.1)
③パート・アルバイト等（非正規社員）の採用を縮小・見送る	11 (6)	13.4 (7.4)
④派遣労働者の人数を縮小、労働者の派遣自体を見送る	5 (0)	6.1 (0.0)
⑤正社員の休業を実施	18 (14)	22.0 (17.3)
⑥パート・アルバイト等（非正規社員）の休業を実施	10 (13)	12.2 (16.0)
⑦派遣契約を維持した上で派遣労働者の休業を実施	2 (2)	2.4 (2.5)

⑧従業員の人員整理（整理解雇、雇い止め等）を検討・実施	4 (8)	4.9 (9.9)
⑨雇用調整助成金の申請を検討している	7 (9)	8.5 (11.1)
⑩雇用調整助成金を申請し、支給待ちの状況（審査・手続中）	1 (4)	1.2 (4.9)
⑪雇用調整助成金を申請し、既に支給された	19 (13)	23.2 (16.0)
⑫雇用調整助成金制度がわからない・手続が煩雑であるため、申請は行わない	4 (3)	4.9 (3.7)
⑬その他	1 (0)	1.2 (0.0)
⑭該当なし	45 (48)	54.9 (59.3)

※（ ）は前回調査の数字。なお、構成比は質問Ⅶ①の件数に対する割合を示す。

○その他のコメント

・小売業

- ・消極的だがPCR検査の徹底やワクチンが早く完成して不安が除去され、景気が上向くのを待っているしかないかなと（飲料品）

X. 総括表

秋田県内中小企業景況調査
全産業別景気判断比較表(DI値)
(第2四半期:2020年7月~9月)

(▲マイナス)

	業況						売上額・完成工事額						資金繰り								
	前期(4~6月)		今期(7~9月)				前期(4~6月)		今期(7~9月)				前期(4~6月)		今期(7~9月)						
	(A)	来期見通 (7~9月)	(C)	前期比	来期見通	(D)	(D)-(C)	(A)	来期見通 (7~9月)	(C)	前期比	来期見通	(D)	(D)-(C)	(A)	来期見通 (7~9月)	(C)	前期比	来期見通	(D)	(D)-(C)
		(B)		(C)-(A)	(D)				(D)-(C)		(B)	(C)-(A)				(D)		(D)-(C)	(B)		
全産業	▲ 52.9	▲ 46.5	▲ 54.6	-1.7	▲ 46.6	8.0	▲ 53.0	▲ 55.8	▲ 60.1	-7.1	▲ 56.0	4.1	▲ 21.9	▲ 30.8	▲ 26.2	-4.3	▲ 33.6	-7.4			
建設業	▲ 28.9	▲ 15.8	▲ 19.4	9.5	▲ 21.9	-2.5	▲ 34.2	▲ 26.3	▲ 32.4	1.8	▲ 35.3	-2.9	▲ 5.2	▲ 7.9	▲ 6.2	-1.0	▲ 15.7	-9.5			
製造業	▲ 64.5	▲ 51.6	▲ 65.7	-1.2	▲ 56.3	9.4	▲ 67.7	▲ 61.2	▲ 71.8	-4.1	▲ 62.5	9.3	▲ 38.7	▲ 29.1	▲ 37.5	1.2	▲ 43.8	-6.3			
卸売業	▲ 71.4	▲ 67.9	▲ 70.0	1.4	▲ 60.0	10.0	▲ 57.2	▲ 75.0	▲ 76.6	-19.4	▲ 56.7	19.9	▲ 35.7	▲ 50.0	▲ 33.3	2.4	▲ 36.7	-3.4			
小売業	▲ 43.3	▲ 46.0	▲ 54.3	-11.0	▲ 42.9	11.4	▲ 46.0	▲ 59.5	▲ 55.5	-9.5	▲ 61.1	-5.6	▲ 2.8	▲ 30.6	▲ 17.7	-14.9	▲ 32.4	-14.7			
サービス業	▲ 63.9	▲ 58.3	▲ 62.8	1.1	▲ 52.8	10.0	▲ 63.9	▲ 63.9	▲ 66.6	-2.7	▲ 63.9	2.7	▲ 33.4	▲ 41.6	▲ 36.1	-2.7	▲ 38.8	-2.7			

	受注残(未消化工事高)						採算(経常利益)						従業員(含む臨時)								
	前期(4~6月)		今期(7~9月)				前期(4~6月)		今期(7~9月)				前期(4~6月)		今期(7~9月)						
	(A)	来期見通 (7~9月)	(C)	前期比	来期見通	(D)	(D)-(C)	(A)	来期見通 (7~9月)	(C)	前期比	来期見通	(D)	(D)-(C)	(A)	来期見通 (7~9月)	(C)	前期比	来期見通	(D)	(D)-(C)
		(B)		(C)-(A)	(D)				(D)-(C)		(B)	(C)-(A)				(D)		(D)-(C)	(B)		
全産業	▲ 42.1	▲ 43.3	▲ 34.9	7.2	▲ 50.0	-15.1	▲ 49.2	▲ 50.6	▲ 53.9	-4.7	▲ 50.3	3.6	▲ 14.9	▲ 15.7	▲ 18.0	-3.1	▲ 18.6	-0.6			
建設業	▲ 23.7	▲ 34.2	▲ 28.2	-4.5	▲ 56.3	-28.1	▲ 18.4	▲ 21.0	▲ 21.9	-3.5	▲ 31.3	-9.4	▲ 42.1	▲ 40.5	▲ 43.8	-1.7	▲ 43.8	0.0			
製造業	▲ 64.5	▲ 55.2	▲ 42.0	22.5	▲ 43.7	-1.7	▲ 54.8	▲ 58.1	▲ 56.2	-1.4	▲ 53.1	3.1	3.2	▲ 3.2	▲ 6.5	-9.7	▲ 9.4	-2.9			
卸売業	—	—	—	—	—	—	▲ 74.1	▲ 75.0	▲ 86.7	-12.6	▲ 66.6	20.1	3.6	▲ 3.6	▲ 10.4	-14.0	▲ 10.7	-0.3			
小売業	—	—	—	—	—	—	▲ 43.3	▲ 51.4	▲ 40.0	3.3	▲ 48.5	-8.5	▲ 16.6	▲ 13.9	▲ 14.7	1.9	▲ 17.6	-2.9			
サービス業	—	—	—	—	—	—	▲ 63.8	▲ 55.5	▲ 66.6	-2.8	▲ 52.8	13.8	▲ 14.7	▲ 11.7	▲ 14.3	0.4	▲ 11.4	2.9			

※ DI値:「増加」・「好転」したとする企業割合から「減少」・「悪化」したとする企業割合を差し引いた値である。
:従業員の「過剰」から「不足」したとする企業割合を差し引いた値である。

秋田県内中小企業景況調査結果(業種別比較表)

(第2四半期:2020年7月~9月)

1. 今期の状況

業種	項目	業況			売上額・完成工事額			資金繰り			受注残(未消化工事高)			採算(経常利益)			従業員(含む臨時)		
		好転	不変	悪化	増加	不変	減少	好転	不変	悪化	増加	不変	減少	好転	不変	悪化	過剰	適正	不足
全産業	実数	8	58	97	18	31	119	11	99	54	6	29	28	14	48	103	18	96	47
	%	4.9	35.6	59.5	10.7	18.5	70.8	6.7	60.4	32.9	9.5	46.0	44.4	8.5	29.1	62.4	11.2	59.6	29.2
	DI	▲ 54.6			▲ 60.1			▲ 26.2			▲ 34.9			▲ 53.9			▲ 18.0		
建設業	実数	1	23	7	6	11	17	2	26	4	5	13	14	3	19	10	0	18	14
	%	3.2	74.2	22.6	17.6	32.4	50.0	6.3	81.3	12.5	15.6	40.6	43.8	9.4	59.4	31.3	0.0	56.3	43.8
	DI	▲ 19.4			▲ 32.4			▲ 6.2			▲ 28.2			▲ 21.9			▲ 43.8		
製造業	実数	1	9	22	2	5	25	1	18	13	1	16	14	2	10	20	8	13	10
	%	3.1	28.1	68.8	6.3	15.6	78.1	3.1	56.3	40.6	3.2	51.6	45.2	6.3	31.3	62.5	25.8	41.9	32.3
	DI	▲ 65.7			▲ 71.8			▲ 37.5			▲ 42.0			▲ 56.2			▲ 6.5		
卸売業	実数	1	7	22	2	3	25	0	20	10				0	4	26	3	20	6
	%	3.3	23.3	73.3	6.7	10.0	83.3	0.0	66.7	33.3				0.0	13.3	86.7	10.3	69.0	20.7
	DI	▲ 70.0			▲ 76.6			▲ 33.3						▲ 86.7			▲ 10.4		
小売業	実数	4	8	23	6	4	26	6	16	12				7	7	21	2	25	7
	%	11.4	22.9	65.7	16.7	11.1	72.2	17.6	47.1	35.3				20.0	20.0	60.0	5.9	73.5	20.6
	DI	▲ 54.3			▲ 55.5			▲ 17.7						▲ 40.0			▲ 14.7		
サービス業	実数	1	11	23	2	8	26	2	19	15				2	8	26	5	20	10
	%	2.9	31.4	65.7	5.6	22.2	72.2	5.6	52.8	41.7				5.6	22.2	72.2	14.3	57.1	28.6
	DI	▲ 62.8			▲ 66.6			▲ 36.1						▲ 66.6			▲ 14.3		

※ DI値:「増加」・「好転」したとする企業割合から「減少」・「悪化」したとする企業割合を差し引いた値である。

:従業員の「過剰」から「不足」したとする企業割合を差し引いた値である。

秋田県内中小企業景況調査結果(業種別比較表)

(第2四半期:2020年7月~9月)

2. 来期の見通し

業種	項目	業況			売上額・完成工事額			資金繰り			受注残(未消化工事高)			採算(経常利益)			従業員(含む臨時)		
		好転	不変	悪化	増加	不変	減少	好転	不変	悪化	増加	不変	減少	好転	不変	悪化	過剰	適正	不足
全産業	実数	9	70	86	15	44	109	4	101	59	3	26	35	9	64	92	18	95	48
	%	5.5	42.4	52.1	8.9	26.2	64.9	2.4	61.6	36.0	4.7	40.6	54.7	5.5	38.8	55.8	11.2	59.0	29.8
	DI	▲ 46.6			▲ 56.0			▲ 33.6			▲ 50.0			▲ 50.3			▲ 18.6		
建設業	実数	1	23	8	6	10	18	1	25	6	1	12	19	1	20	11	0	18	14
	%	3.1	71.9	25.0	17.6	29.4	52.9	3.1	78.1	18.8	3.1	37.5	59.4	3.1	62.5	34.4	0.0	56.3	43.8
	DI	▲ 21.9			▲ 35.3			▲ 15.7			▲ 56.3			▲ 31.3			▲ 43.8		
製造業	実数	0	14	18	0	12	20	0	18	14	2	14	16	0	15	17	8	13	11
	%	0.0	43.8	56.3	0.0	37.5	62.5	0.0	56.3	43.8	6.3	43.8	50.0	0.0	46.9	53.1	25.0	40.6	34.4
	DI	▲ 56.3			▲ 62.5			▲ 43.8			▲ 43.7			▲ 53.1			▲ 9.4		
卸売業	実数	1	10	19	3	7	20	0	19	11				2	6	22	3	19	6
	%	3.3	33.3	63.3	10.0	23.3	66.7	0.0	63.3	36.7				6.7	20.0	73.3	10.7	67.9	21.4
	DI	▲ 60.0			▲ 56.7			▲ 36.7						▲ 66.6			▲ 10.7		
小売業	実数	4	12	19	3	8	25	1	21	12				3	12	20	2	24	8
	%	11.4	34.3	54.3	8.3	22.2	69.4	2.9	61.8	35.3				8.6	34.3	57.1	5.9	70.6	23.5
	DI	▲ 42.9			▲ 61.1			▲ 32.4						▲ 48.5			▲ 17.6		
サービス業	実数	3	11	22	3	7	26	2	18	16				3	11	22	5	21	9
	%	8.3	30.6	61.1	8.3	19.4	72.2	5.6	50.0	44.4				8.3	30.6	61.1	14.3	60.0	25.7
	DI	▲ 52.8			▲ 63.9			▲ 38.8						▲ 52.8			▲ 11.4		

※ DI値:「増加」・「好転」したとする企業割合から「減少」・「悪化」したとする企業割合を差し引いた値である。

:従業員の「過剰」から「不足」したとする企業割合を差し引いた値である。

秋田県内中小企業景況調査
地域別景気判断比較表(DI値)

(第2四半期:2020年7月~9月)

(▲マイナス)

	業況						売上額・完成工事額						資金繰り					
	前期(4~6月)		今期(7~9月)				前期(4~6月)		今期(7~9月)				前期(4~6月)		今期(7~9月)			
	(A)	来期見通 (7~9月)	(C)	前期比 (C)-(A)	(D)	来期見通 今期比 (D)-(C)	(A)	来期見通 (7~9月)	(C)	前期比 (C)-(A)	(D)	来期見通 今期比 (D)-(C)	(A)	来期見通 (7~9月)	(C)	前期比 (C)-(A)	(D)	来期見通 今期比 (D)-(C)
		(B)						(B)						(B)				
全県	▲ 52.9	▲ 46.5	▲ 54.6	-1.7	▲ 46.6	8.0	▲ 53.0	▲ 55.8	▲ 60.1	-7.1	▲ 56.0	4.1	▲ 21.9	▲ 30.8	▲ 26.2	-4.3	▲ 33.6	-7.4
県北	▲ 36.4	▲ 34.1	▲ 51.2	-14.8	▲ 32.6	18.6	▲ 34.1	▲ 43.1	▲ 51.1	-17.0	▲ 44.2	6.9	0.0	▲ 20.5	▲ 16.3	-16.3	▲ 25.6	-9.3
県央	▲ 63.0	▲ 52.3	▲ 62.1	0.9	▲ 52.2	9.9	▲ 67.6	▲ 60.0	▲ 64.7	2.9	▲ 58.8	5.9	▲ 35.9	▲ 40.6	▲ 31.8	4.1	▲ 40.9	-9.1
県南	▲ 54.1	▲ 49.2	▲ 48.1	6.0	▲ 50.9	-2.8	▲ 50.8	▲ 60.7	▲ 61.4	-10.6	▲ 61.4	0.0	▲ 22.9	▲ 27.8	▲ 27.2	-4.3	▲ 30.9	-3.7

	受注残(未消化工事高)						採算(経常利益)						従業員(含む臨時)					
	前期(4~6月)		今期(7~9月)				前期(4~6月)		今期(7~9月)				前期(4~6月)		今期(7~9月)			
	(A)	来期見通 (7~9月)	(C)	前期比 (C)-(A)	(D)	来期見通 今期比 (D)-(C)	(A)	来期見通 (7~9月)	(C)	前期比 (C)-(A)	(D)	来期見通 今期比 (D)-(C)	(A)	来期見通 (7~9月)	(C)	前期比 (C)-(A)	(D)	来期見通 今期比 (D)-(C)
		(B)						(B)						(B)				
全県	▲ 42.1	▲ 43.3	▲ 34.9	7.2	▲ 50.0	-15.1	▲ 49.2	▲ 50.6	▲ 53.9	-4.7	▲ 50.3	3.6	▲ 14.9	▲ 15.7	▲ 18.0	-3.1	▲ 18.6	-0.6
県北	▲ 16.7	▲ 33.3	0.0	16.7	▲ 29.4	-29.4	▲ 31.8	▲ 38.6	▲ 41.9	-10.1	▲ 32.6	9.3	▲ 29.5	▲ 27.3	▲ 28.6	0.9	▲ 31.0	-2.4
県央	▲ 41.6	▲ 39.1	▲ 53.8	-12.2	▲ 61.6	-7.8	▲ 57.9	▲ 56.9	▲ 59.7	-1.8	▲ 58.2	1.5	▲ 9.7	▲ 13.1	▲ 17.2	-7.5	▲ 17.2	0.0
県南	▲ 59.3	▲ 53.9	▲ 40.0	19.3	▲ 52.3	-12.3	▲ 52.4	▲ 52.4	▲ 56.3	-3.9	▲ 54.6	1.7	▲ 9.9	▲ 9.8	▲ 10.9	-1.0	▲ 10.9	0.0

※ DI値:「増加」・「好転」したとする企業割合から「減少」・「悪化」したとする企業割合を差し引いた値である。

:従業員の「過剰」から「不足」したとする企業割合を差し引いた値である。

秋田県内中小企業景況調査結果(地域別比較表)

(第2四半期:2020年7月~9月)

	業種	業況			売上額・完成工事額			資金繰り			受注残(未消化工事高)			採算(経常利益)			従業員(含む臨時)			
		好転	不変	悪化	増加	不変	減少	好転	不変	悪化	増加	不変	減少	好転	不変	悪化	過剰	適正	不足	
今 期 状 況	全 県	実数	8	58	97	18	31	119	11	99	54	6	29	28	14	48	103	18	96	47
		%	4.9	35.6	59.5	10.7	18.5	70.8	6.7	60.4	32.9	9.5	46.0	44.4	8.5	29.1	62.4	11.2	59.6	29.2
		DI	▲ 54.6			▲ 60.1			▲ 26.2			▲ 34.9			▲ 53.9			▲ 18.0		
	県 北	実数	1	19	23	6	9	28	3	30	10	4	9	4	5	15	23	3	24	15
		%	2.3	44.2	53.5	14.0	20.9	65.1	7.0	69.8	23.3	23.5	52.9	23.5	11.6	34.9	53.5	7.1	57.1	35.7
		DI	▲ 51.2			▲ 51.1			▲ 16.3			0.0			▲ 41.9			▲ 28.6		
	県 央	実数	4	17	45	7	10	51	5	35	26	2	8	16	5	17	45	6	41	17
		%	6.1	25.8	68.2	10.3	14.7	75.0	7.6	53.0	39.4	7.7	30.8	61.5	7.5	25.4	67.2	9.4	64.1	26.6
		DI	▲ 62.1			▲ 64.7			▲ 31.8			▲ 53.8			▲ 59.7			▲ 17.2		
	県 南	実数	3	22	29	5	12	40	3	34	18	0	12	8	4	16	35	9	31	15
		%	5.6	40.7	53.7	8.8	21.1	70.2	5.5	61.8	32.7	0.0	60.0	40.0	7.3	29.1	63.6	16.4	56.4	27.3
		DI	▲ 48.1			▲ 61.4			▲ 27.2			▲ 40.0			▲ 56.3			▲ 10.9		
来 期 見 通 し	全 県	実数	9	70	86	15	44	109	4	101	59	3	26	35	9	64	92	18	95	48
		%	5.5	42.4	52.1	8.9	26.2	64.9	2.4	61.6	36.0	4.7	40.6	54.7	5.5	38.8	55.8	11.2	59.0	29.8
		DI	▲ 46.6			▲ 56.0			▲ 33.6			▲ 50.0			▲ 50.3			▲ 18.6		
	県 北	実数	4	21	18	7	10	26	1	30	12	1	10	6	5	19	19	3	23	16
		%	9.3	48.8	41.9	16.3	23.3	60.5	2.3	69.8	27.9	5.9	58.8	35.3	11.6	44.2	44.2	7.1	54.8	38.1
		DI	▲ 32.6			▲ 44.2			▲ 25.6			▲ 29.4			▲ 32.6			▲ 31.0		
	県 央	実数	3	26	38	4	20	44	1	37	28	1	8	17	2	24	41	6	41	17
		%	4.5	38.8	56.7	5.9	29.4	64.7	1.5	56.1	42.4	3.8	30.8	65.4	3.0	35.8	61.2	9.4	64.1	26.6
		DI	▲ 52.2			▲ 58.8			▲ 40.9			▲ 61.6			▲ 58.2			▲ 17.2		
	県 南	実数	2	23	30	4	14	39	2	34	19	1	8	12	2	21	32	9	31	15
		%	3.6	41.8	54.5	7.0	24.6	68.4	3.6	61.8	34.5	4.8	38.1	57.1	3.6	38.2	58.2	16.4	56.4	27.3
		DI	▲ 50.9			▲ 61.4			▲ 30.9			▲ 52.3			▲ 54.6			▲ 10.9		

※ DI値:「増加」・「好転」したとする企業割合から「減少」・「悪化」したとする企業割合を差し引いた値である。

:従業員の「過剰」から「不足」したとする企業割合を差し引いた値である。

参考

県内景況調査に対する各企業のコメント

I 今期の特徴（2020年7～9月）

1 建設業	
・コロナの影響で公共工事の減少が心配である【一般土木建築工事業】	県央
・受注現場が新型コロナウイルスの影響による原材料入手の遅れや集中豪雨による水害のため、現場作業が停止し、工期延期や工事額減額の要素が出ている【一般土木建築工事業】	
・コロナでクラスターが出たせいで完成工事額が落ち込んだか？【木造建築工事業】	
・全体に工事量が少ない【一般土木建築工事業】	
・完成工事が少ないので額が少なく、経常利益も少ない【土木工事業】	
・太陽光発電関係の仕事が多かった【一般電気工事業】	
・特に変わりなし【総合建設業】	県北
・大型物件がないため、完成工事額は減少しているが、採算は好転気味である【钣金工事業】	県南
2 製造業	
・7月は回復傾向が見られたものの、新型コロナウイルス感染再拡大で業務用市場は再び失速。8月は夏祭り中止やお盆帰省自粛による需要の減少、観測史上最多となる猛暑日、9月末は酒税減税前の仕入控えも影響した【清酒製造業】	県央
・新型コロナウイルスの影響で帰省客が減少し、盆需要が全くなかった。ただ、通常製品は安定している【水産物製造・卸売業】	
・新型コロナウイルスの影響が大である【婦人服製造業】	
・各種イベントの中止に伴う受注減少分を新規企画や営業でカバーできていない【印刷業】	
・コロナの影響により売上額が減少している【金属製品製造業】	
・受注減による価格下落により採算悪化【金属製品製造業】	
・顧客の買い控え、コロナ禍の影響も多少ある【綱製造業】	県北
・酒税減税のため、9月の動きが鈍化した【清酒製造業】	
・コロナの影響で売上が大幅減少【花火製造】	
・公共工事が一段落し、受注残が減少。低価格帯製品の納入が多く、収益性が悪い【コンクリート製造】	県南
・イベントの中止、学校給食の中止等で売上減少【製麺業】	
3 卸売業	
・パレル業界ではまだコロナの影響が色濃く残っている【織物卸売業】	県央
・コロナによる需要減少【その他の食料・飲料卸売業】	
・夏休み期間中のイベント（夏祭りや盆踊り等）の中止により、売上激減。持続化給付金の対象にも届かず、非常に苦しい。何とか乗り切ろうと頑張っている【その他の卸売業】	
・新型コロナウイルス発生前の状態には戻れない【清涼飲料卸売業】	県北
・コロナの影響で一部売上が減少しているが、他の部門の売上増加のため、トータルでは増加している。しかし、採算は取れていない【青果卸売業】	県南
・総体的に動きが鈍い【機械工具卸売業】	

4 小売業	
<ul style="list-style-type: none"> ・特別なメガネが売れた。時計の修理が多かった【時計小売業】 ・コロナの影響で人通りが少なく、売上は大きくマイナスしている【婦人靴小売業】 ・コロナの影響で持ち帰りの店に有利に出ている【食肉小売業】 ・コロナ禍の影響で全体的な不況状態が続いている【酒小売業】 ・消費者の購買意欲が上がって来ない。テナントの百貨店の売上の減少率は大きい【茶類小売業】 ・案件が減少している【自動車部品】 ・県内では新型コロナウイルスの影響が減少し、メーカーの商品改良等に伴う既販車の切替が相次いだことによる商品の出荷遅れに加え、競合他社との競争が一層激化し、販売価格の低下はあるものの、経費削減効果により減収・増益となった【自動車小売業】 ・ブライダル、葬儀関連の需要がなくなり、売上が激減している。暇な日は従業員を休ませている【花・植木小売業】 ・昨年の8、9月は消費税10%前の需要があり、今期は減少している【化粧品小売業】 	県央
<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍により生活様式が変化し、消費が冷え込んでいる【菓子製造販売】 ・新型コロナウイルスの影響による売上減少【酒類販売】 	県北
<ul style="list-style-type: none"> ・減収・減益【燃料小売業】 ・コロナの影響で酒類の飲食店向けの売上は低迷しているが、食品関係の通販の売上は増加傾向にある【酒類・食料品小売】 	県南
5 サービス業	
<ul style="list-style-type: none"> ・顧客からの注文が激減で今後も検討できない状況である【普通洗濯業】 ・春期は車両販売が伸びず、苦戦した【自動車一般整備業】 ・コロナ禍の影響を受け、売上が減少している【ビルメンテナンス業】 ・新型コロナウイルスの影響は大きく、売上は前年比6割程度の状況【運輸業】 	県央
<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルスによる祭りの中止及びお盆の帰省客の減少により売上減少【食堂】 ・コロナ禍の影響か、業務見直しの得意先が増え、契約変更があった【IT関連】 ・売上の的には新型コロナウイルスの影響がなかった【司法書士】 	県北
<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルスの影響で激変した【ホテル業】 ・進めている案件はあるものの、未完了のため請求できない物が多い【建築設計】 ・新型コロナウイルスの影響で仕事量が激減した【自動車钣金業】 ・春の繁忙期がなく、売上を前年並にするだけで精一杯である【保険代理業】 ・行事等のキャンセル、中止が多い【写真館】 	県南

II 来期の見通し(2020年10~12月)

1 建設業	
<ul style="list-style-type: none"> ・年度末工事の発注に期待している【一般土木建築工事業】 ・受注工事が年度内に納まるか年度外工期になるか不明【一般土木建築工事業】 ・GOTOキャンペーンが始まることで受注拡大に気持ちも動くかもしれない【木造建築工事業】 ・受注予定があり、完成工事額増加の見通し【一般土木建築工事業】 ・完成予定の工事現場が遠いのでそれに伴う経費もかかり、採算は少ない予想【土木工事業】 ・8月に完成工事が多かったため、工事額減少を見込む【塗装工事業】 ・コロナの影響が出てくるものと思われる【防水工事業】 ・電線張替工事が増えるため、完成工事額も増加の見込【一般電気工事業】 	県央

2 製造業	
<ul style="list-style-type: none"> ・飲み会や多人数の会合が全くない中、在宅勤務や時差出勤の普及で「仕事帰りに一杯」という需要は冷え込んでくる。この状況が続くと「飲食店の廃業増加」と「酒販店の経営逼迫」が並行して進む【清酒製造業】 ・新型コロナウイルスの対応に順応できてきているので、売上は少しずつ安定してくるのではない【水産物製造・卸売業】 ・新型コロナウイルスの影響による悪化が続く見込【婦人服製造業】 ・コロナウイルスの感染の収束が見通せず、売上高の落ち込みが予測できない【印刷業】 ・明るい予想が立てられない【印刷業】 ・10月以降の受注については順調に伸びている【金属製品製造業】 ・今期と同様を見込む【金属製品製造業】 ・今期と同様の状態が続くと予想する【網製造業】 	県央
<ul style="list-style-type: none"> ・コロナの影響が大きく、売上減少を見込む【花火製造】 ・収益性は若干解消されるが、売上減のため業況として今期より悪化傾向にある【コンクリート製造】 ・8月は5割減、10月は1割減まで回復したが、GOTOキャンペーンが終わればどうなるか不安【乾麺製造業】 ・事業所の社員食堂の廃業や飲食店の休業による売上減少を見込む【製麺業】 	県南
3 卸売業	
<ul style="list-style-type: none"> ・昨年は暖冬で売上が悪かったので、コロナの影響で悪化しても同じくらいと見込んでいる【織物卸売業】 ・新型コロナウイルスの影響により先行きが不透明【食肉卸売業】 ・新型コロナウイルスの影響が続くと思われる【その他の食料・飲料卸売業】 ・厳しい【その他の卸売業】 	県央
<ul style="list-style-type: none"> ・先行き不透明【鶏卵卸】 	県北
<ul style="list-style-type: none"> ・まだまだ新型コロナウイルスの影響が大きい【清涼飲料卸売業】 ・今期と同様の状態が続くそう【機械工具卸売業】 	県南
4 小売業	
<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き新型コロナウイルスの影響が続く、厳しい状況が続くと思われる【婦人靴小売業】 ・来期はお客様が土日に飲食店へ流れて、売上がダウンすると思われる【食肉小売業】 ・コロナ禍が終息するまで不況は続くと思われる【酒小売業】 ・季節性のインフルエンザやコロナの感染者増への不安等で明るい見通しが立たない【茶類小売業】 ・昨年は消費税増税の影響を受け、駆け込みが多かった【自動車部品】 ・新型コロナウイルス感染症の終息が見えない中、メーカーの商品改良等でコンパクトカー中心に市場が活発化し、一部商品でメーカーの生産が逼迫し、出荷遅れが発生しているものの、昨年の消費税増税ほどの影響はないと判断し、前年同期と比較し増収・増益を見込む【自動車小売業】 ・今期と同様の状態が続くと思われる【花・植木小売業】 	県央
<ul style="list-style-type: none"> ・これまで当たり前存在した仕事なくなる可能性が大。新しいパイを作ること、新規事業も視野に入れていかなくてはならない【生花・造花販売】 ・先行き不明【酒類販売】 	県北
<ul style="list-style-type: none"> ・今期同様、減収・減益を見込む【燃料小売業】 ・当面は飲食店の売上減が予想され、全体で10%くらい減少の見込【酒類・食料品小売】 	県南

5 サービス業	
<ul style="list-style-type: none"> ・今期と同様、売上上昇は全く望めず、今後の判断ができない【普通洗濯業】 ・努力して車両販売、降雪にも期待して売上を伸ばしたい【自動車一般整備業】 ・好転する材料が見当たらない【運輸業】 ・10月から当社の新年度になるが良くなる見通しが立たない【ビルメンテナンス業】 	県央
<ul style="list-style-type: none"> ・若干、売上減少幅は上向きであるが、人数の多い宴会等はまだまだ自粛しているため、売上は好転しない【食堂】 ・好転要素はないが、業務改革提案に関心ある顧客が多いと見る【IT関連】 ・急激に悪化していくことはないのではでないか？【司法書士】 	県北
<ul style="list-style-type: none"> ・ライフスタイルが変わり、デフレが続いているのでかなり悪化すると思われる【ホテル業】 ・補助金を活用したデザイン制作などの依頼があり、年末に売上が集中する見込【建築設計】 ・先の見通しが見つからない【自動車钣金業】 ・何とか売上を前年と同じにするよう努力するだけだ【保険代理業】 ・コロナが落ち着くまでは好転しない【写真館】 	県南